

2024/10月

TSUDOI

【増刊】GOOD銘柄 継続分析レポート(10月)

TSUDOIはブロックチェーンと仮想通貨に特化した情報配信サービスです。

本レポートコンテンツ

◆『狙い目：中堅銘柄』 継続分析ガイド

過去Goodマークを付与した中堅銘柄の継続分析

◆『大穴：新規銘柄』 継続分析ガイド

過去Goodマークを付与した中堅銘柄の継続分析

このレポートはTSUDOIの有料サービス、スタンダードプランの加入者専用の情報です。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。

レポートの読み方については、一覧に含まれる [「必見！成功へ導く3つの仮想通貨投資術」](#) をご覧ください。

**とは**

TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。



有料
レポート

過去週次レポート掲載 中堅銘柄 継続分析ガイド

本レポートで中堅・大穴銘柄を調査する理由

中堅・大穴銘柄は、成長のポテンシャルが大きい一方でリスクも高いため、注意深い分析と継続的なモニタリングが重要です。これらの銘柄に特に注目し、直近の潜在的な成長機会を探るとともにリスクを管理する分析を行っています。TOP銘柄とは異なる視点から、潜在的な大きなリターンを狙うための情報を提供しています。

『狙い目：中堅銘柄』 継続分析ガイド

調査・分析方法について

過去週次分析レポートにて高評価（Good）を付与した銘柄に関する継続調査。

この調査では、以下の点に着目して分析を行います。

- 直近の注目ニュースの有無：過去高評価を得た銘柄が、その後も新たな注目を集めるニュースが発生しているかどうかを調査します。
- 直近の重要指標推移：銘柄の市場でのパフォーマンスや他の重要な指標がどのように推移しているかを調査します。

これらの要素を総合的に評価し、投資家にとって有益な情報を提供することを目指しています。

過去にGoodマークを付与した銘柄一

銘柄	レポート掲載日	銘柄	レポート掲載日	銘柄	レポート掲載日
ORDI	2023年 11/10	Starknet	2024年 3/8	Ondo	2024年 6/7, 7/26, 8/9, 9/26
Celestia	2023年 11/17	Manta Network	2024年 3/8, 7/5	MANTRA	2024年 7/19
Blur	2023年 11/24	Axelar	2024年 3/14	Jupiter	2024年 8/2
Terra Classic	2023年 12/1	Biconomy	2024年 4/5	Aerodrome Finance	2024年 9/20
Ethereum Name Service	2024年 1/12, 7/26	Metis	2024年 4/26, 5/10		

Ethereum Name Service : ENS (本レポートでの)

直近の注目ポイント：10/9 GoogleがEthereum Name Service (ENS) を検索機能に統合

GoogleがEthereum Name Service (ENS) を検索機能に統合したことで、Ethereumアドレスの利用が大幅に簡素化されました。これにより、長いアルファベットコードを使用する代わりに、簡単な「username.eth」で検索等可能になり、コミュニティの期待が高まっています。

Ondo : ONDO (9月4週目レポートでの)

直近の注目ポイント：来総資産が過去最高を記録 & 伝統的資産のデジタル化で暗号市場の需要に対応

Ondo FinanceはBlackRockやSecuritizeと提携し、Skyエコシステムにトークン化米国財務省証券を導入。総資産は過去最高の6億1600万ドルに達し、利回りトークンへの需要増加を背景に成長を期待。伝統的資産のデジタル化により、効率的で安定した投資環境を提供し、暗号市場の需要拡大に対応しています。

Jupiter : JUP (直近月次分析レポートでの)

直近の注目ポイント：Sanctumとの提携で、SOL決済の「Cloud Card」を発表、ソラナ経済圏の拡張を支援

Jupiterは未請求のJUPトークン処理を決定するためにコミュニティ投票を開始し、トークンのバーンやASRプログラムへの追加を検討中とのこと。また、Sanctumとの提携でSOL決済の「Cloud Card」を発表しインフラを強化しています。MoonPay統合のモバイルアプリや流動性ソリューションのAPI「Metropolis」のローンチも控えており、多くの提携や統合のトピックからSolana経済圏のさらなる拡張を支援しています。

MANTRA : OM (直近月次分析レポートでの)

直近の注目ポイント：来月メインネット開始、RWA分野での大きな飛躍を期待

先月同様、2024年10月にメインネット「MANTRA Chain」のローンチが予定されており、リアルワールドアセット (RWA) のトークン化に特化したレイヤー1ブロックチェーンです。DeFiと伝統的金融を結びつけ、機関向けのオンチェーンファイナンスとトークン化資産へのアクセスを提供します。UAEの不動産大手MAGや航空金融企業と提携し、5億ドル規模の不動産トークン化や航空業界のRWA投資を推進しており、OMトークンの価値も上昇しています。

Aerodrome Finance : AERO (9月3週目レポートでの)

直近の注目ポイント：Base上の主要DEXとして「cbBTC」の成長と共に注目を集める

Coinbaseが展開した「cbBTC」の主要な流動性供給場所として注目を集めるBase上の主要DEXです。Base上で最大のTVLを誇り、直近1週間でTVLは34.62%増加、上位50Dapps中最も成長。Baseが独自トークンを発行しないことから、今後もBase関連のDEXトークンへの投資期待が高まる可能性があります。

継続分析による調査結果(継続分析で特筆すべき注目要因がなかった銘柄)

ORDI : ORDI

直近の注目ポイント：個別の注目要因見当たらず、ミームコインとしての未来

先月同様新規の注目要因は見つからず、現状は様子見の状態です。昨年11月に急騰した本銘柄は2024年も好調でしたが、現在は最高値から半分に下落。BRC-20トークンにおける注目度よりも、ミーム性による注目度が増しており、今後の見通しは不透明です。ミームコイン分野では依然注目を集めています。

Celestia : TIA

直近の注目ポイント：10/31 大規模なアンロックイベントに注目。

10月31日にCelestiaが11億ドル相当のトークンを解禁することは、暗号通貨市場に大きな影響を与える可能性があります。大量のトークンが市場に出回ること、価格の急変動が予想され、投資家に新たな投資機会を提供する一方で、短期的には売り圧力による価格下落のリスクも考えられます。

Terra Classic : LUNC

直近の注目ポイント：10/4 Terra Classic、セキュリティ強化と取引最適化でアップグレード完了

Terra Classicのバージョン3.1.6アップグレードは、ブロックチェーンのセキュリティとパフォーマンスを強化しました。特に、WebAssembly仮想マシン（wasmvm）の脆弱性を修正し、ガス手数料のシミュレーション精度を向上させています。ただし、2022年の暴落の経験から、業界での影響力は限定的になっています。

Starknet : STRK

直近の注目ポイント：Starknetのステーキング進展

先月同様 トークンの実需に大きな影響はなく、現状は様子見です。Starknetは9/25にステーキングの第一フェーズを開始し、2024年末までにレイヤー2ネットワーク上でのステーキング完了を予定しています。ガバナンス投票を経て、ネットワークのセキュリティ強化とトークンインフレーション管理も導入と技術的な進捗があります。ただし、毎月15日のアンロックイベントに留意が必要な点と、現在TVL上の大幅な成長は見込めていない点では課題が残ります。

Manta Network : MANTA

直近の注目ポイント：新プログラム『Gas Gain』でアクティブユーザーにMANTA報酬を還元

Manta Networkの新プログラム「Gas Gain」は、ユーザーがManta Pacificでの取引に対してガス料金の一部をMANTAトークンで還元される仕組みを導入。上位400名のアクティブユーザーには、支払ったガス料金の50%が報酬として返還されます。さらに、NFT所有や多様なオンチェーン活動、ソーシャルエンゲージメントが評価され、参加者のスコアが上がる仕組みも特徴。現在TVL上の大幅な成長は見込めていない点では課題が残ります。

Axelar : AXL

直近の注目ポイント：10/4 クロスチェーン相互運用性を強化する「Mobius Development Stack」を発表

Axelarの「Mobius Development Stack（MDS）」は、異なるブロックチェーン間の接続を簡素化し、分散型アプリケーション（dApps）開発を容易にする技術です。ブリッジを不要にし、OpenZeppelinライブラリとの統合やオフチェーンリソースのサポート、クロスチェーン接続の安全性を確保する「Interchain Amplifier」、トークン作成を支援する「Interchain Token Service」などが注目され、Web3のインフラを大幅に改善します。

Metis : METIS

直近の注目ポイント：Metis、ChainlinkのCCIP統合でクロスチェーン開発を加速

MetisがChainlinkのクロスチェーン相互運用プロトコル（CCIP）を統合し、開発者が異なるブロックチェーン間でdAppsを構築しやすくしました。これにより、クロスチェーン取引、DeFi、NFT、決済ゲートウェイなどのユースケースが拡大し、低コストで迅速なトランザクションが可能になります。Metisの低ガス料金もユーザーのアクセス性とスケーラビリティを確保し、柔軟で効率的なエコシステムの構築が期待されます。現在TVL上では、微増しているものの、大幅な成長は見込めていない点では課題が残ります。

下記銘柄は、直近1カ月の週次レポート及び月次レポートにて、新しい注目要因が見当たらなかった銘柄となります。

対象銘柄：Blur、Biconomy

過去週次レポート掲載 新規銘柄 継続分析ガイド

Goodマーク新規銘柄の継続調査

調査・分析方法について

過去週次分析レポートにて高評価（Good）を付与した銘柄に関する継続調査。

この調査では、以下の点に着目して分析を行います。

- 直近の注目ニュースの有無：過去高評価を得た銘柄が、その後も新たな注目を集めるニュースが発生しているかどうかを調査します。
- 直近の重要指標推移：銘柄の市場でのパフォーマンスや他の重要な指標がどのように推移しているかを調査します。

これらの要素を総合的に評価し、投資家にとって有益な情報を提供することを目指しています。

過去にGoodマークを付与した銘柄一覧

銘柄	レポート掲載日	銘柄	レポート掲載日	銘柄	レポート掲載日
Arkham	2023年 11/30	ether.fi	2024年 3/22	Taiko	2024年 6/7
Xai	2024年 1/19	Ethena	2024年 4/5	io.net	2024年 6/14
Manta Network	2024年 1/19	Wormhole	2024年 4/5	Artificial Superintelligence Alliance	2024年 7/5
Ondo	2024年 1/26	Saga	2024年 4/12	LayerZero	2024年 7/5
Metis	2024年 1/26	Omni Network	2024年 4/19		
Dymension	2024年 2/9	Merlin Chain	2024年 4/26		
Aevo	2024年 3/14	BounceBit	2024年 5/17		

※Manta Networkは、中堅銘柄として注目要因を考察しておりますので、新規銘柄のトピックでは割愛致します。

Ethena : ENA (直近月次分析レポートでの👍)

直近の注目ポイント：パートナーシップへの期待とセキュリティへの懸念

9月上旬、Ether.fiと提携し、eUSDeリキッドリスティングトークンを発表し、DeFi市場での影響力を拡大しました。しかし、9/18 ウェブサイトがハッキング被害を受け、ユーザーインターフェースが一時的に侵害される事態が発生。資産は無事でしたが、ユーザーが抱えるセキュリティへの懸念が高まりました。トランザクション実績として、TVLが7月以降やや下がり調子となることにも留意が必要となっていました。9/26 BlackRockが提携するSecuritizeと提携し、新しいステーブルコイン『USTb』を発表。今後のTVL増加に期待が高まっています。

Wormhole : W (直近月次分析レポートでの👍)

直近の注目ポイント：SecuritizeとWormholeの統合

BlackRockが提携するSecuritizeは、Wormholeというクロスチェーンコミュニケーションプロトコルを統合しました。この統合の目的は、Securitizeプラットフォームでトークン化されたすべての資産にクロスチェーンの機能を提供することです。Securitizeの発表によると、これにより、異なるブロックチェーン間でのトークン移動が可能となり、リアルワールドアセット（RWA）の取引がよりスムーズに行えるようになります。

継続分析による調査結果(継続分析で特筆すべき注目要因がなかった銘柄)

Arkham : ARKM

直近の注目ポイント：暗号通貨市場の透明性確保：Arkhamが活躍する2つの事例

Arkham Intelligenceは、TeslaとMrBeast関連の事例で効果的に活用されました。Teslaのケースでは、大量のビットコイン移動が追跡され、投資家は売却や市場操作の懸念を早期に察知できました。MrBeast関連のウォレットでは、ポンプ・アンド・ダンプ疑惑のある取引が詳細に解析され、不正の可能性が浮き彫りになりました。これらの事例を通じて、Arkhamはオンチェーンの透明性を高め、市場の動向把握やリスク管理に貢献しています。

Merlin Chain : MERL

直近の注目ポイント：EthereumとUXUYとの提携でDeFiとクロスチェーン取引を強化

Merlin Chainは、EthereumおよびUXUYとの提携により、DeFiエコシステムの拡大とクロスチェーンの利便性を強化しています。Ethereumとの協力で、MERLおよびMBTCの資産ブリッジが可能となり、DeFiおよびNFT市場へのアクセスが広がります。UXUYとの連携では、Telegram上でのマルチチェーンウォレット統合により、Bitcoin Layer 2のクロスチェーンスワップが容易化され、DeFi活動の効率が向上。これらの提携は、流動性とユーザーエクスペリエンスの向上に寄与します。ただし、今月から毎月、現在の時価総額に対し5.79%のアンロックイベントが行われる点には留意が必要です。

io.net : IO

直近の注目ポイント：Coinbaseでのio.net上場がSolanaネットワークへの関心を拡大

io.net (IO) のCoinbase上場は、Solanaネットワーク上のSPLトークンへの関心を高める重要な動きです。高い取引速度と低コストで知られるSolanaの技術力が、主流の暗号通貨取引所に統合されることで、投資家の関心がさらに強まっています。特定の地域では規制上の制約があるものの、この上場はCoinbaseが多様な暗号資産へのアクセスを拡大する戦略の一環として注目されています。

Artificial Superintelligence Alliance : FET

直近の注目ポイント：AI銘柄への期待がさらに高まる

Artificial Superintelligence Allianceとしての注目要因は見当たりませんが、AI銘柄のトレンドとして最近の取引量の急増しており、AI技術の成長に対する市場の期待を反映しています。その結果、長期的な投資機会としてFETが評価される要因となっています。

LayerZero : ZRO

直近の注目ポイント：Unichain統合でLayerZeroがDeFiを強化

LayerZeroのUnichain統合は、複数のブロックチェーンをつなぐクロスチェーン相互運用性を大幅に強化し、開発者がより広範なプロジェクトを展開できる環境を提供します。特に、Uniswap Labsが開発したUnichainは、Optimism Superchainに基づき、高速な0.25秒の取引処理を実現。これにより、Ethereumのスケーラビリティが向上し、分散型金融（DeFi）における効率と柔軟性が強化され、さらなるイノベーションを促進します。

下記銘柄は、直近1カ月の週次レポート及び月次レポートにて、新しい注目要因が見当たらなかった銘柄となります。

対象銘柄：Xai、Dymension、Aero、ether.fi、Saga、Omni Network、BounceBit、Taiko

引用元：

本レポートにおけるデータおよび分析は、以下の情報源を基にしています。

- CoinMarketCap : <https://coinmarketcap.com/>
- CoinCarp : <https://www.coincarp.com/>
- Messari : <https://messari.io/>
- TokenInsight : <https://tokeninsight.com/>

注意事項

本レポートは、投資助言を提供するものではありません。提供される情報は、一般的な解説に限定されており、個別の投資判断に直接適用するものではありません。投資に関する最終決定とその結果について、当方は一切の責任を負いません。

レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。商業利用に関するお問い合わせは下記よりご連絡ください。

発行元：TSUDO I

メールアドレス：info@sigmainc.co.jp

ウェブサイト： <https://tsudoi-platform.co.jp/>